※令和３年度以前入学生用

学校番号	3008

令和４年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　最新　数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	プラクティスノート　数学Ⅱ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業ではまず基礎の土台作りを大切にします。説明をしっかりと聞き、疑問はそのままにせず、周りや授業担当者に積極的に質問するようにしてください。
・数学においては、途中式や考え方など答えに至るプロセスが重要です。読み手に伝えることを意識して解答を作成してください。
・ノートは授業中の板書を自分なりに再現することを最低限とし、口頭で伝えたことや、気付いたこと、自分なりの考えなど、追記していくことで評価が高まります。ノートは毎時間集めます。
・ある課題を解決するにあたり、自ら考え抜くことも大切ですが、周りと協力する姿勢も求められます。
・授業内で自分の解答や考え方を発表したり、他者を講評したりする機会があります。
・課題に関しては、期限内に提出することが大前提ですが、遅れてでもやりきる気持ちで取り組んでください。既習事項の復習を兼ねることができますので、授業ノートを参考にしながら、学力の定着を目ざしましょう。

2　学習の到達目標

複素数と図形と方程式から微分法と積分法までの知識や技能を習得します。また、複素数や図形と方程式、微分法や積分法の事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	複素数と方程式、図形と方程式、微分積分法における考え方や体系に関心を持ち,数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現し思考の過程を多面的･発展的に考えることを通して、複素数と方程式、図形と方程式、微分積分法における数学的な考え方を身に付けている。	複素数と方程式、図形と方程式、微分積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	複素数と方程式、図形と方程式、微分積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。
評価方法	･学習活動への取り組み姿勢と態度 ・課題･提出物の状況	・定期テスト ・ノート作成 ・課題 ・観察等	・確認テスト ・定期テスト ・観察等	・確認テスト ・定期テスト ・課題 ・観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	複素数と方程式	整式の乗法・除法および分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	○	○	○	○	a: 複素数の四則計算ができる。 b: 負の数の平方根を理解している。 c:解と係数の関係を理解し,方程式を解くときの応用ができる。 d: 練習問題に取り組もうとする。	・学習活動への取り組み姿勢と態度 ・課題・提出物の状況 ・確認テスト ・定期テスト ・ノート作成 ・課題 観察等
2学期	図形と方程式	座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○	a: 数直線上において、2点間の距離を求めることができる。 b: 座標平面上において、線分の内分点,外分点の座標を求めることができる。 c: 点の座標を求めるのに、図形の性質を適切に利用できる。 d: 三角形の重心の座標の公式を理解している。	・学習活動への取り組み姿勢と態度 ・課題・提出物の状況 ・確認テスト ・定期テスト ・ノート作成 ・課題 観察等
3学期	微分と積分	微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに, 事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○	a: 微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。 b: 導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 c: 導関数を利用して、関数の極値を求め、グラフをかくことができる。 d: 直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。	・学習活動への取り組み姿勢と態度 ・課題・提出物の状況 ・確認テスト ・定期テスト ・ノート作成 ・課題 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。